

平成22年度第3回 落合第一地区協議会の概要

日 時	平成22年6月1日(火) 午後7時00分～9時00分
場 所	落合第一地域センター3階 集会室
出席者	委 員 30名 特別出張所: 山本所長、佐藤副所長、新川主査、関口まちづくり活動支援員
協議内容	1. 代表挨拶 2. 議 事 1) 自治基本条例区民検討会議報告 2) 各PTからの報告 3) 平成22年度事業計画と予算案について 4) その他
配付資料	平成22年度第3回落合第一地区協議会次第 平成22年度第1回「広報PT」会議概要 平成22年度第1回「ふるさと落合PT」会議概要 平成22年度第1回「安全・安心」会議概要 平成22年度第1回「みどり・環境PT」会議概要 広報PT 活動計画書 ふるさと落合PT 活動計画書 安全安心PT 活動計画書 みどり・環境プロジェクトチーム 活動計画書 落合第一地区協議会の進め方について PT所属表 できることからエコの環をひろげよう! 第32回(仮称)新宿区自治基本条例検討連絡会 資料一式

1 代表挨拶

- ・ 4つのPTが始動を始め、其々のPTからとても良い事業案、予算案が出ている。200万円の予算を若干超える感があるが、そこはうまく調整できるよう皆さんにご協力願いたい。

2 議 事

1) 自治基本条例区民検討会議報告

- ・ 現在、区民検討会議では、「地域の基盤」までを討議した。今後、「外国人」「暮らし方の多様性」「安全安心」「環境」「平和・人権」「教育」…等々について討議していく(配付資料の資料12参照)。
- ・ 検討連絡会において、三者の意見がどのように合意形成されたかについては、配付資料の資料5「骨子案 検討シート」の中に「骨子案に盛り込むべき事項」として記載されている。それだけでもお読み頂けると良いと思う。
- ・ 区民の皆さんにどうやって周知するかという一つの方法として、区民アンケートがある。現在、その質問を作成中(配付資料の資料7、8参照)。それに平行して、6/19、20に区民討議会が開催される。その他、8月に地域懇談会を開催する予定になっている。

質問1

区民検討会議に、地区協議会としての意見はどのように持っていかれているのか、又、どのように反映されているのか。

回答1

地区協議会としての意見を区民検討会議に持って行き、そこで検討をするというのが当然の事。20年12月、検討連絡会に参加する6名を区民検討会の中から選出する時には、落一地

区協の中でその人員構成について討議した。その結果、地区協代表委員2名、町会代表委員1名、NPO委員1名、公募委員2名という構成で検討連絡会委員を選出するのが良いという事になり、それを区民検討会議で落一地区協の意見として発表し、実際にその通りになった。自分自身は落一地区協の代表委員として、全体会で決定した事を検討会議に持って行く為、折に触れてご意見を求めているが、地区協全体会の中では他にも討議する事が多々あり、自治基本条例の事だけを個別に検討する時間がとれない。そのため、落一地区協全体としての意見を絶えず持っていくというのは難しいので、ある程度個人的な意見を発表しているという事が多々ある。その結果どのようになったかは、全体会で資料を配布し、報告している。

質問2

前回の討議概要に、「2年後くらいには条例に基づいた地区協になると思う」という事が記載してあったが、もしも、条例として地区協が位置づけられるのであれば、今の地区協を、条例になるかどうか分からないという状態で続けていくというのは、地域住民に対して説明不足だと思う。行政としてのご意見を伺いたい。

回答2

今の質問で言われた事は、これまでに何度も区民検討会議で討議された。今回の自治基本条例で地区協を位置づけるというのが、中山区長の公約のようになっていたが、残念ながら、今の地区協には各種様々な問題があるという認識が一致しているので、現在の地区協を制度化するという議論には至っていない。このまま地域自治の基盤をどこにするかを討議していると、自治基本条例が制定できなくなってくるので、基盤となる地域自治組織作ろうという大雑把なところに落ち着いた。そして、その地域自治組織を作る時には、今ある地域自治に関わる団体を全てシャッフルしてゼロベースで考えようという意見と、今ある団体を基盤にしようという意見がある。自治基本条例ができると、その下にぶら下がる個別条例で地域自治に関する事も具体化していく。皆同じ思いで議論を重ねているので、必ずそのようにいく。

意見1

それであれば、地区協でそのことこそ一番先に協議しなければならない事ではないか。落一地域センターが出来るときも、地域にある町会を始め、様々な団体をシャッフルし、地域センターでこの地域を取りまとめていこうという構想もあった。最終的には、センターの運営という事に留まったが、こういう事こそ地域で話し合い、地域が本当にどうしたいのか、というのを話し合うのが地区協だと思う。それを代表会議で話合っているからとか、自治基本条例で話合っているからでは、皆の意見が反映されていないと思う。

質問2に対する回答

地区協は、地域の課題解決の場という事と、区政参画の場という事で、平成18年から発足した組織。地域の課題解決の場という地区協の存在意義は変わっていないが、それを条例上に載せるかどうかというところで議論を進めている。条例になった場合、どれだけのメリットがあるか、という事が現段階の検討会ではまだ明確になっていない。最初は、自治基本条例で地区協を位置づけるという考えもあったが、現時点での地区協が地域自治の核になるような仕組みになっているのかどうか、その辺の議論が煮詰まっていないので、今回の自治基本条例には地区協の名前は明確に載せずに、とりあえず別条例にしようという方向で動いている。別条例にした時に、地区協がそのまま残るのか、新たなものになるのか、そういったところについても議論を進めている途中。あくまでも地域の課題解決の場の地区協というのは行政としても認めているところなので、その辺の主旨に則り、条例ができるまでの間は進めて頂きたいと考えている。

質問3

自治基本条例について、大量の資料が手元にきている。紙1枚でポイントがまとまっているものはないか。

回答3

配付している資料の中にある「検討シート」が一番まとまっているもの。そして、どうしてそうなったのかを分かっていたためにそれに関するものを配付している。「検討シート」だけを読

んでも分からないものだと思うので、紙1枚でまとめるのは無理。

2) 各PTからの報告

広報PT (資料1参照)

【事業計画案】

広聴活動関係

- ・ 一般の方々が関心を持っているテーマでの講演会、学習会の開催。
- ・ 地域の方々へのアンケートの実施
地域の情報共有を進める
- ・ 毎月1回、情報誌のような広報誌を発行する。
資料1の2枚目については再度検討の余地あり。本日の報告は割愛する。
区との情報共有を進める
- ・ 4ヶ月に1回程度の頻度で区の職員に来てもらい、地域に関係する政策について状況説明してもらい、意見交換する場を設ける。

【予算案】

- ・ 月1情報誌の発行 A4 5枚×1,000部×10回 = 28,000円
 - ・ 年3回の特集号 4P 3000部×2回 = 240,000円 8P 3,000部×1回 = 189,000円
 - ・ 年4回の講演会、学習会 講師謝礼36,000×4回 = 144,000円
- 合計 601,000円

質問1

講師謝礼36,000円はどのように計算して出た数字か？

回答1

「地区協議会まちづくり活動支援補助金交付要綱」の中に「講師謝礼」という項目があり、講師のランクにより謝礼の金額が定められている。広報PTの場合、この講師ランクを一番高いランクと想定し、1時間12,000円×3hで見積りを出した。3時間にした根拠は、講師謝礼の中に交通費も含まれる為、遠方から講師の方を呼んだ場合、24,000円では少ないのではないかとこの意見がPT会議でも出たので、3時間として見積もった。

あくまでも、上限を見積もった金額であるので、出来るだけ安い金額で出来るように努力する。

質問2

地域の情報共有を進めるため、月1の情報誌に地域全体の情報を載せて発行するという計画をしているが、広報PTの役割はこの地区協の広報であり、この地域全体のPRをする必要は無いと思う。地区協の活動を報告する事に主眼をおくべきではないか。

また、区職員との意見交換会を計画しているが、テーマが漠然としている。具体案があればお聞かせ頂きたい。

回答2

地区協のPRを一番に考えるべきというのはご指摘のとおりだと思う。ただ、落一地区協で「ともにつくるみどり豊かで安心なまち」というスローガンを掲げたのは、地域全体にこういう町になって欲しい、という願いがあつての事だと思う。だとすれば、色々な団体を理解していく為に、情報を共有していくという方向性は一つあつても良いのではないかと思う。月1の情報誌については、ガイドラインも含めて議論の余地が多々あると思うので、再度検討した後に、皆さんのご意見を頂いて決めて行きたいと思う。

行政との意見交換については、各PTの活動は、其々に行政の政策との接点が出てくる場面があると思う。例えば、緑の事であれば、区には緑に関する様々な政策がある。補助金一つをとってみても、非常に複雑で色々なものがあり、地域住民が理解しにくい部分がある。そういった部分をきちんと説明して頂いたうえで、こちらも意見を言えるような、相互に情報共有できる場をつくるのは意義があると思う。又、これからの区政がどう動いていくかという部分で、この地域に関係している政策というのも有り得る。そこを説明して頂くというのもあると思う。

意見1

広報紙で、地区協がどういうものかを宣伝するのは非常に大切な事だと思う。ただ、活字とい

うのはどんなに思いを込めて書いても、地域には色々な読み方をする人がいると思うので、上からも下からも横からも斜めからも視点を置いて書いた方がよい。ただ単に情報の後追い記事だけでは広報の意味は果たさないとと思うので、広報を通して良いアイデアを発信していくような視点も忘れずに頑張ってください。

ふるさと落合PT (資料 参照)

【事業計画案】

- ふるさと落合DVD仕上げ作業
- ・ 音声調整と若干の編集作業
- ・ マスターDVDの作成とDVDのコピー
- DVDの配付、DVD観賞用マップの配付
- ふるさと落合DVD上映会の実施
- まち歩きの為のパンフレットの作成

【予算案】

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| ・ スタジオ作業代 | 1h 2万円 × 6時間 = 120,000円 |
| ・ マスターDVD修正編集及び制作費 | 1h 4,000円 × 20時間 = 80,000円 |
| ・ DVDコピー代(透明ケース入り) | 1枚 500円 × 100枚 = 50,000円 |
| ・ DVD盤面印刷 | 1枚 50円 × 100枚 = 5,000円 |
| ・ DVD鑑賞用マップ紙代 | A4ライトグリーン500枚入り 1冊 610円 |
| ・ まち歩きの為のパンフレットの作成 | 8P 3,000部 × 1回 = 189,000円 |
| | <u>合計 444,610円</u> |

質問1

DVDの編集及び修正というのは、委員の中のどなたかがやるのか、或いは、外部の会社などをお願いするのか。

回答1

個人的に信頼する会社に外注する。

質問2

事業計画案にまち歩きのためのパンフレット作成とあるが、西武鉄道がそういったものを作成しているのはご存知か。

回答2

PT会議で、ある程度DVDに対応したもので、DVDをより見やすくし、まち歩きにも使えるマップを作成したい、という意見が出て事業計画案に入れている。是非作成したい。

意見1

新宿区で発行した平和マップというのがある。その内容も考慮して作成してほしい。また、配付先として、新宿歴史博物館も入れて欲しい。

意見2

新宿区文化観光国際課にもそのようなマップがあるので、その内容も踏まえて作成してほしい。

意見3

落一でも何年前に作ったので、その内容も踏まえて作成してほしい。

意見1～3への回答

落合の資料、写真などあったらふるさと落合にお届け頂きたい。DVDの配付先についても、ご意見ご要望をお寄せ頂きたい。

安全・安心PT

- ・ PT名称・・・「安全・安心PT」に決定
- ・ 子どもの為の自転車教室の日程が決まった。今年度もお手伝いしたいと思っているので、承認頂きたい。ご協力頂ける方にはご参加頂きたい。
落四小・・・6 / 12(土) 14時集合 14時30分開始
落一小・・・6 / 19(土) 9時30分集合 10時開始

落二小・・・7/7(水) 13時30分集合 14時開始

- ・「みどりの風」に各PTの記事を載せる際には、実際に活動をしている人が記事を書いた方が、活動をより良く反映できるのではないかと、地区協がどういう活動をしているのかをしっかりと書いて頂く為に、各PTから広報担当をつくってはどうか。

【事業計画案】

子どものための自転車教室

無灯火防止啓発キャンペーンの継続

聖母坂無電柱化の経過報告と、新目白通りの無電柱化についての説明会の要請

地域課題を取り上げ、解決する為のパイプ役を行なう

- ・ 下落合の踏切の問題
- ・ 地震対策について
- ・ 地域パトロールの実態調査
- ・ 非難場所を歩く

【予算案】

- ・ 啓発用防災グッズ @1,000円×100枚 = 100,000円
 - ・ 視察の為の借バス代 150,000円
 - ・ ひたくり防止用の自転車ネット @700円×100個 = 70,000円
 - ・ 啓発用チラシ印刷等 100,000円
 - ・ 自転車啓発ティッシュ @20×2,000個 = 40,000円
 - ・ 地区協フェスタ開催 150,000円
 - ・ 地域団体との連携 50,000円
- 合計 660,000円

質問1

啓発用防災グッズと、ひたくり防止用の自転車ネットは、購入数が100となっているが、その根拠は何か。

回答1

100枚の根拠は特に無い。予算をあげなければならないという事で、現実には何がいくらだから何個購入しようというところまでは出来なかった。トータルの金額で考えて頂きたい。

啓発用防災グッズは、地区協フェスタの時などに、何らかの方法で差し上げたい。ひたくり防止用の自転車ネットは、自転車関係のイベントの景品としたい。何かイベントをする時には、景品でお客様を呼ぶという方法も必要かと考えた。

回答1 - 2

おみやげという発想で考えた。もしも火災が起きた際に、羽織るだけで防火の効果があるものを100枚程購入しておき、フェスタなどの際に抽選でお渡しするという事があってもよいと思い、その数字になった。

質問2

地域団体との連携とは具体的に何か？

回答2

センターまつり、運動会、町会の行事などで必要なのではないかと思います。計上した。昨年も地域団体との連携、視察、地区協フェスタの予算が、どこかしらで計上されていたので、他のPTから予算計上されていない場合を考え、安全・安心PTで計上した。

質問3

地区協フェスタ開催の150,000円は、前年度も安全・安心PTで予算を計上したのか。

回答3

昨年は、周知事業の中で地区協フェスタの予算が計上されていた。特に安全・安心PTが地区協フェスタを企画するという事ではなく、どこにも地区協フェスタの予算が上がっていないと困るのではないかと思います。安全・安心PTで計上した。

質問4

子どもの為の自転車教室のお手伝いでは、どのような事をするのか。

回答4

実際にコースでの走行が始まった時に、指定されたポイントに立ったり、人が足りない所の補助をしたり、自転車の啓発グッズや、みどりの風を配布し、地区協のPRも行った。

質問5

事業として自転車教室のお手伝いをした結果、地区協で取り組むべき課題は何だったのか、というようなまとめを作っているのか。

回答5

子どもの為の自転車教室を実施するのであれば、地区協として何かできないかという事で参加した。その結果、各学校から非常に良かった、またご協力頂きたいとの言葉を頂いた。そこで、今年も「地域の地区協」として関わる事に意義があると思う。あくまでもPTAが主催のものなので、事業という仰々しいものではなく、学校との連携という形でやって行きたいと考える。

意見1

地区協というのは、地域の課題を見つけ、拾い上げ、地域をより良くするために解決をする為の協議会だと思う。ただ単に手伝いに行って感謝されたという事だけではなく、一歩進んだ考え方として、自分達がそこに参加し、どのような問題があるかを見つけ、そういうものを検討し、地域の課題として解決していく、というようにしていかなければならないと思う。手伝いに行って見てきたからいいとするのでは、地域の問題解決には繋がらない。そういうものを視点に置いてやって頂きたい。

意見1に対する回答

地区協委員が出向いて知ること、地域でやっていかなければならない事、学校で抱えている問題を考える良い機会になった。お手伝いに行くというよりも、関わる事で地域課題に取り組んでいく場として考えているつもり。

意見2

自転車教室や、無灯火防止啓発キャンペーンを続けていく中で、何か問題点があれば地区協に言ってきてください、とお話をする場面もあるし、今年2回目のお手伝いをしていく中で、子どもたち、PTAの父兄、戸塚警察なども来るので、更なる横の繋がりも出来ていくと思う。そのようなスタンスでやっていると思う。

みどり・環境PT

- ・ PT名称・・・「みどり・環境PT」に決定
- ・ みどり・環境PTは今年度立ち上がったので、事業計画案や予算案を考えるのは非常に無理難題であった。そういった中で立てた計画だという事をご理解頂きたい。

【事業計画案】

地区の緑、環境がどうなっているかの調査、検討。

地区の緑化を推進し、環境改善の為の作業会、実習教室の実施。

- ・ 講演会、調査会、検討会、作業会、教室等を年に5回程度開催する

【予算案】

- ・ 講演会、調査会等々の1回あたりの講師謝礼、材料費等を50,000円とし、250,000円計上。

合計 250,000円

意見1

住民の方々を多く集めたいとお話があったので、広報PTでお手伝いできる事があれば、協力していきたい。

質問1

作業会の場所はどのような所を考えているか。

回答1

各家庭にお花を持って帰って頂くのも一つの方法だと思うし、屋上緑化も一つの方法だと思う。十字路の角を少し切り取り、そこに緑を植える事が出来ると、安全面でも、緑の面でもプラスの効果をもたらす事ができる。そういった事を活用し、落合を緑でいっぱい町にしたい。新しいIPTなので、皆さんから色々ご意見を頂きながら進めていきたい。

安全・安心PTからでた広報に関する提案について

- 各PTの活動をみどりの風に反映できるよう、各PTから数名ずつ広報担当を作ったらどうか、との提案についてご討議頂きたい。

意見1

安全・安心PTでこの提案が出た時には、広報PTの方針、指針が分からない状態だったので、それによっても違ってくると思う。広報PTの考えを伺いたい。

意見1への回答

現場で活動している人が書いた方が良いというのはご指摘のとおり。本来は、広報PTから各PTの行事などに取材に行かなければいけないと思うが、人数も少なく、それが難しい状況なので、各PTから広報担当を出して頂ければありがたいと思う。

意見2

茂原委員からは各PTから広報担当を出して頂きたいという意向を伺えたので、この問題については各PTに持ち帰って考えたらどうか。

意見3

まだPTへの所属が決まっていない委員の方々もいるので、その方達がどこに入るのかが分かってからこの問題について考えてはどうか。

意見4

各PTから広報担当を出すにしても、広報担当が広報PT委員とどのように関わるかにより、出し方が変わってくる。イメージとしては、「みどりの風」編集の際に携わる広報担当と考えているが、そこが決まらなるとPTで相談できないと思う。

意見4への回答

関わり方として、講演会、学習会と一緒に企画するという事はできると思う。月1情報誌に関しては、広報PTでもう一度議論したいので、そこについては何とも言えない。

意見5

各PTがイベントを開催する時に、その情報を広報PTで発信してもらうと同時に、みどりの風にその情報を掲載する際の下書き原稿を書く程度で良いと思う。編集にまで関わるのではなく、ゆるい関係で良いと思う。

意見5への回答

そういった方向で良いと思うが、本来は各PTに広報担当がいて、各PT其々が活動目標を達成する為にPR面でどう支援できるか、という事をPT毎に考えるという流れが望ましい姿だと思う。人数的な問題で現在は難しいとは思いますが、本来はそういった流れが良いのではないかと。

< 決定事項 >

広報PTは、来月の全体会までに具体的にこの程度関わって欲しいとか、どういふかわり方が望ましいのかという事を含め考えてくる。

4) 平成22年度事業計画と予算案について

- 事務局から、封筒の印刷代として44,000円を計上させて頂きたい。
- 安全・安心PTから、地区協フェスタの開催15万円と地域団体との連携5万円が計上されている。これらは、事業毎に計上する。昨年度、地区協フェスタ開催と地域団体の連携は、「地区協議会の周知及び活動報告」の事業の中で計上した。それを踏まえてご審議頂きたい。

意見1

各PTから出た事業計画案が承認され、金額的にもちょうど200万円だったので調整の必要は無いと思う。あとは、区に提出する書類にどのように記載するか、というだけの問題なので会計と事務局にお任せしたらよいのではないかと。

意見1への回答

地区協フェスタは、何を対象にフェスタを開催するかによって事業が変わってくる。安全・安心の為のフェスタをするならば安全・安心の中に入れなければいけない、地区協の周知の為のフェスタをするならば広報の中に入れなければいけない。そこを決定して頂きたい。

< 決定事項 >

地区協フェスタ、他団体との連携、封筒印刷代については周知事業の中で予算計上する。

5) その他

提案事項

- ・ 地区協は、地域の課題を見つけ解決する場である。だとすれば、各PTで其々の活動をし、全体会でその報告をするだけ、聞くだけで終わらずに、どのPTの課題に入るかは別として、地区協の全体的な大きな意味として、今地域でこんな事が問題になっているとか、こんな課題があるとか、それに対する良い解決方法がないかとか、そういう事に全体会で常に視点を置き、問題を拾い出していったり、視点を詰めて行くことを忘れずにやっていったら良いと思う。